

## 建設企業常任委員会行政視察概要

令和7年8月5日（火）

於 別府市議会、上人ヶ浜公園

午前10時00分～11時30分

### 1 調査概要・説明 別府市 建設部 公園緑地課

「海岸公園の利活用について（上人ヶ浜公園アーバンスポーツエリア整備）」

別府市は、大分県の東海岸の中央部に位置する市で、大分県では大分市に次いで2番目に人口が多い。別府温泉で有名であり、観光業が盛んなため、宿泊業などの観光産業や小売業を中心として第三次産業就業者の割合が8割を超えており、特徴である。市域の東部は別府湾に流れ込む河川により形成されたなだらかな扇状地と下流部の沖積平野から成る。この東西約5km、南北約9kmの地域に主要な市街地が形成されている。

行政視察では、別府港の北側に位置し、自然海岸の残る上人ヶ浜公園の一部を利用して2024年6月に整備されたアーバンスポーツエリアの整備運営事業について調査した。

2023年、公園利用に関する実態調査として、市内の小・中・高校生をメインに、大学生や子供の保護者なども含めた多様な層を対象に公園アンケートを実施。利用実態、施設や利用に関するニーズ、アーバンスポーツに関する内容等を調査した結果、「スケートボード、ストリートバスケットができる場所が欲しい」との声が多く寄せられた。その後、仮設スケートボードエリアでの利用調査や実証実験アンケート、市内のスケートボード競技者への聞き取りなどを経て、上人ヶ浜公園に施設の整備が進められた。

上人ヶ浜公園は全体が約6.4ヘクタールの市営公園で、アーバンスポーツエリアは公園南エリアの一部に設置されている。スケートボードエリアとバスケットボールコートがあり、若者の居場所づくりや、手軽に楽しめるスポーツを通じて公園の利用促進と地域住民の健康増進促進、地域のにぎわい創出等を目指して設置された。スケートボードエリアは約15m×約50mでコンクリート舗装。バスケットボールコートは約18m×約18mでアスファルト塗装の3人制（3on3）専用コートが1面設置されている（今後もう1面追加予定）。他公園の遊具と同じ扱いで自由に利用できるが、スケ

トボードはケガのリスクが高い競技であるため、入口のQRコードで注意事項等を確認したうえで利用登録してもらうようになっている。スケートボードのセクションは、最初に設置を固定してしまうと後で変更しづらいため、利用者に持参してもらうか、体験会などのイベント時には仮設セクションを設置するようにしている。

今後は、移り変わる市民ニーズを適宜把握し、多くの方に利用される施設整備を進めていく予定とのことである。



## 2 主な質疑応答

問 数ある公園の中で上人ヶ浜公園を選んだ理由と、公園内におけるアーバンスポーツエリアの設置場所の選定した理由は。

答 市内の公園で設置可能な広さを持つ公園として、別府公園と上人ヶ浜公園が候補に挙がり、別府公園は静かな憩いの場といった公園イメージで候補としては難しいとの意見が多く、上人ヶ浜公園に設置となった。また、設置場所は、管理のしやすさ、駐車場の位置等を考慮し検討した。

問 それまで上人ヶ浜公園を利用していた人の共存はうまくいったのか。

答 上人ヶ浜公園はランニングやウォーキングなどアクティブな人が多く利用していたため、受け入れられやすかった。

問 周辺住民との調整や騒音・ゴミ問題等への対応は

答 以前は利用の仕方やマナー等で問題があったが、利用状況を注視しながらルールを随時設定し、声掛けや案内板の設置により現在は大きな問題はない。騒音苦情は利用時間を19時までに変更以降は特にならない。上人ヶ浜公園の西側には、交通量の多い国道10号が通っており、アーバンスポーツの騒音がかき消されやすい状況となっている。

問 整備について国・県等の補助金や民間企業からの資本はあったか。

答 補助事業とすると複数年の事業期間が必要となることから、整備費用（約1,200万円）は、市単独費で賄っている。

問 運営主体、ランニングコスト等の費用について

答 運営は市直轄である。ランニングコストもバスケットボールのゴールネットの消耗が激しい以外は特にはかかっていない。

問 防犯カメラの設置や夜間パトロールなどの事故防止のための取組および地震・津波・大雨・雷等の災害時の避難等について

答 防犯カメラ等は設置していない。管理者はいないが、芝刈りや清掃などで毎日誰かの目に触れるようになっている。災害時の避難等については、主に警報等による自主避難に任せている。

以上